



2008～2009年度

中津平成週報

2008～2009年度 国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに

Make Dreams Real

国際ロータリー会長 李 東建

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

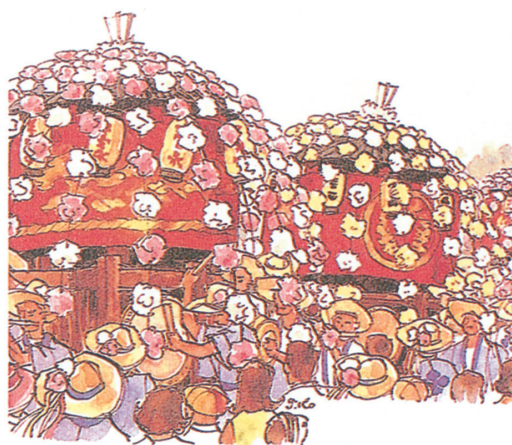
会長 加来敏男 幹事 矢頭和敏 会報委員長 田原和己

例会日/毎週木曜日 12:30 例会場/グランプラザ中津ホテル ☎24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

☎0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org http://www.n-heisei.org/



第909回例会 平成20年11月20日(木)

◎本日の例会プログラム

ゲスト卓話「中小企業の決算書の見方について」

大分県経営金融支援室 総括 宮田一弘氏

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「税について」 中津税務署長 赤峰教義氏

前回(908回例会)の記録

平成20年11月13日(木)

■ビジター

中津中央RC

河野貴久君

■出席報告

会 員 数 26名

免 除 者 数 0名

対 象 者 数 26名

本日出席者 21名

欠 席 者 数 5名

出 席 率 80.77%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 2名

メイクアップ 0名

欠 席 者 2名

修正出席率 92.31%→ 92.31%

●メイクアップ

なし

●欠席者

松本、渡邊

◎ロータリーソング 我等の生業

◎会長の時間 会長 加来敏男

麻生内閣の支持率が下がりつつあるようで、朝日新聞社の行った世論調査の結果は、支持するが37%、不支持が41%だそうです。また定額給付金の件では賛否両論あるようで、「必要な政策だと思う」は26%、「そうは思わない」が63%だったそうです。定額給付金について今日の新聞に載っていましたが、予算2兆円で、一人当たり1万2千円、65歳以上と18歳以下は8千円加算し2万円、所得制限を設けるかどうかは各市町村が判断し、その所得制限を設ける場合の下限は所得1,800万円ということです。初めは全員に配ると言っていたものを、途中から所得制限をすと言い出して、しかもその作業は地方に丸投げということで、批判を浴びています。所得確認には膨大な作業が必要なので、全員に配布ということになれば良いと思います。まだ正式決定ではありませんが、もしも実現

したとしても、これで景気の回復にどれだけ効果が出るのかは非常に疑問があります。混乱を招くだけで逆効果になる気もします。

◎幹事報告 幹事 矢頭和敏

●例会変更 湯布院RC

●週報受理 熊本平成RC

●幹事報告

・熊本～北九州間不法投棄パトロールのお知らせ

・玉名中央RC会員 林 和廣さん

12/3 宇佐市役所、中津市には12/4(月)中津市三光支所-上毛町役場

0968-85-3612 個人的な活動のご案内

・地区大会 2009年2月7日(土)9:00～17:00
グランメッセ熊本にて、1日のみの大会となります。

●理事会報告

・例会終了後、理事会を行います。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」 “He Profits Most Who Serves Best”

◎委員会報告

・若松SAA

ゲストが荷物等を持ち込んだ時には片付けは各会員は率先してお手伝い下さい。

・辛嶋会員

ガバナー補佐の研修に行っていました。地区委員の推薦を各クラブにお願いするそうです。次年度の地区活動スケジュールも出来つつあります。御協力お願いいたします。

・加来会長

次々年度の理事候補者の指名をいたします。候補者は青木会員、小川会員、榎本会員の3名です。

◎ニコニコボックス

担当：会報委員会

○加来会長

今年度になり4ヶ月が過ぎました。次々年度の事も進行しています。これからも宜しくお願いいたします。

○辛嶋会員

例会の木曜日と11月13日が重なる事が数年に一度ありまして今日がその日です。私の誕生日が11月13日です。今日で64歳になりました。

○矢頭幹事

一昨日に私は50歳になりました。辛嶋会員のお孫さんと同じ誕生日です。

○江渕会員

次々年度の理事候補者の皆様宜しくお願いいたします。

○小路会員

今話題の給付金の件ですがそのお金は現在、不足している医療、福祉、介護、教育等に有効利用して頂きたいと思っています。

○岩渕会員

先日、姪の結婚式がありました。

◎ゲスト卓話

「人権をめぐる課題②」

中津市教育委員会

社会教育指導員 西 俊二氏



みんなで築こう人権文化ー私たちと人権 第2部ー

1. はじめに

20世紀には、世界各地で数多くの戦争があり、多くの尊い命が奪われました。こうした時代の反省から、21世紀は「人権の世紀」として、すべての人の人権が尊重され、平和な社会をめざそうという願いが世界中に広がっています。人間は生まれながらに自由で平等

であり、誰もが人間として幸せな生活を営む権利を持っています。すべての人は「性別」「社会的身分」「国籍」「人種」「門地」などにより、差別を受けることなく平等に権利を保障されています。しかし、実際にはまだ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、HIV感染者やハンセン病患者などをめぐるさまざまな差別や人権侵害が存在しています。また、最近では顧客データなどの流出や漏洩による個人のプライバシーの侵害や、インターネットによる誹謗中傷や差別を助長する表現など、新しい領域での人権侵害も生じています。人間は誰でも、世界中にその人は「ひとり」しか存在しません。一人ひとりが何ものにもかえがたい存在です。どのような立場の人でも、「尊厳と権利」は平等に守られるべきものなのです。人は一人ひとり個性や文化、生き方や考え方がちがいます。だからこそ、私たちは、お互いに自分と異なる考えや文化を認め合い、尊重しあうことが大切ではないでしょうか。

2. 人権をめぐる8つの課題

- ・女性の人権問題：DV・男女共同参画・セクハラなど
- ・子どもの人権問題：児童虐待・体罰など
- ・同和問題：結婚差別・就職差別など
- ・高齢者の人権：悪徳商法の被害・虐待など
- ・障がい者の人権問題：バリアフリーなど
- ・外国人の人権問題：入居入浴拒否・朝鮮人差別など
- ・病気の人々に関する人権問題：エイズやハンセン病への偏見差別
- ・さまざまな人権の問題：アイヌの人々の問題・インターネットによる人権侵害・個人情報など

3. ビデオ「人権入門」をご覧ください。（一部抜粋）

4. おわりに

中津市では「人権尊重社会」の実現に向けた基本的な考え方、各分野の現状と課題、具体的な取り組みを明らかにし、人権に関する施策を総合的にかつ計画的に推進するために「中津市人権施策基本計画」を2007年に策定しました。この基本理念「すべての人々の人権が尊重される社会」の実現は、「人権という普遍的文化の創造」をめざすという人類共通の願いです。わたしたちは、「市民一人ひとりがお互いに尊重し合い、共に生きる喜びを実感できるあったかいまちの実現」、つまり、一人ひとりが身近なところから人権について考え、豊かな人権感覚を身につけ、すべての人が尊重されるあったかい社会をめざそうではありませんか。

（文責：田原）